

平成 30 年 4 月 6 日



担当課	博物館
担当者	近藤・太田
電話	(073) 423-0003
内線	

## 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」認定

### 平成 30 年度春季企画展「和歌の浦には名所がござる」の開催について

昨年、「絶景の宝庫 和歌の浦」が日本遺産に認定されました。和歌の浦は、古来から多くの人々に親しまれてきましたが、もとより和歌の浦は和歌川河口に位置し、自然が織りなす美観を整えていたのです。聖武天皇の行幸以後、寺社などが創建され和歌の浦は自然的要素と歴史的要素とが調和した景勝地として全国にその名が知られました。

今回の展示では、和歌の浦を題材とした絵画や絵図、絵はがきや古写真などをおして様々な名所を紹介し、その魅力をさぐります。

- 1 主催 和歌山市立博物館
- 2 会 期 平成 30 年 4 月 21 日（土）～6 月 3 日（日） 開催日数 38 日間  
休館日 : 毎週月曜日（但し、4 月 30 日は開館、翌日休館）  
開館時間 : 9 時から 17 時（但し、入館は 16 時 30 分まで）
- 3 会 場 和歌山市湊本町 3-2 和歌山市立博物館 2 階特別展示室
- 4 入館料 一般・大学生 100 円 高校生以下 無料  
※障害者、和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は無料  
※団体 20 人以上 2 割引き  
※5 月 18 日（金）～20 日（日）は国際博物館の日にちなみ無料
- 5 関連行事 4 月 28 日（土）、5 月 26 日（土） 展示解説 14 時～15 時  
5 月 12 日（土）古写真上映会「昭和初期の和歌の浦」 14 時～15 時  
本館学芸員 太田宏一  
5 月 19 日（土）講演会「城下町和歌山の祭礼－和歌祭と日前宮砂持祭に  
ついて－」 14 時～15 時  
本館学芸員 高橋克伸

## 展示構成及び主な展示資料

### 【展示構成とみどころ】

#### I 和歌の浦の景色

このコーナーでは和歌の浦全体としての景観美やそこに育まれた和歌の浦の名物を紹介します。和歌の浦は古くから人々に親しまれてきた絶景の地です。それは元来あった自然が織りなす美と後世において造営された寺社、あるいは人為的な要素が調和した結果であると考えられます。その和歌の浦の景観美や名物をご覧ください。

- 1 和歌の浦の眺望
- 2 和歌の浦の名物

#### II 和歌の浦の名所

このコーナーでは、和歌の浦にある名所の一つ一つを紹介していきます。古来より和歌の浦は風光明媚な地として知られていました。江戸時代には「和歌の浦には名所がござる、一に権現、二に玉津島…」と言われたように、和歌の浦には様々な「名所」があり、多くの観光客がこれらの名所を訪れ、にぎわいました。紀州徳川家ゆかりの歴史遺産も今も多く伝え残されています。

- 1 玉津島神社・鹽竈神社
- 2 妹背山
- 3 不老橋
- 4 片男波
- 5 紀州東照宮
- 6 和歌祭
- 7 和歌浦天満宮
- 8 新和歌浦
- 9 紀三井寺

展示総点数 約 120 件（内、和歌山市指定文化財 6 件）

※期間中、一部、展示替えします。

## 【主な展示資料】

### 1 <sup>わかとうらこうえんけい</sup> 和歌之浦公園景 館蔵

紀三井寺から和歌浦天満宮まで和歌の浦の全景をパノラマ風に画いた色刷りの絵図。明治 34 年に製作され、当時の和歌の浦の各名所が確認できる。下部には和歌の浦などの旅館や和歌山名産の広告もみえる。



### 2 <sup>よしのわかとうらしんけいずかん</sup> 吉野和歌浦真景図巻 館蔵

奈良の吉野から和歌の浦まで紀ノ川沿いの名所を画いた絵巻物。この図では片男波を中心に描き、その北側（画面手前）が奥深く海が入り込み、現在とはかなり景観が異なっていたことがわかる。湾には寛文 5 年(1665)から 11 年(1671)の間に敷設された新道がみえる。東照宮境内を通ることのないように和歌本村と出島を結んだ。



3 なんまおとこやまやきめつけき みいでら づみずきし 南紀男山焼染付紀三井寺図水指 館蔵

胴部に染付で紀三井寺を画いた水指。南紀男山焼は紀州の代表的な焼き物の一つで、文政 10 年(1827)、陶工のさい崎山利兵衛が現在の広川町に開いた。紀三井寺を含めて和歌浦の景観は、焼き物の題材によく使用された。



4 わか の りこしゃしん 和歌海苔古写真

和歌川河口に広がる海苔の養殖場を撮影した写真。この付近一帯は、海苔の胞子を付着させるヒビと呼ばれる笹で埋め尽くされていた。ヒビの合間をぬって海苔取船が行き交う。遠方に片男波がみえる。明治末の撮影と思われるが、この景観はもう見られない。





# 和歌の名所が浦にぎはる

和歌の浦はええとこやのし

## 平成30年春季企画展

■会期 4月21日(土)→6月3日(日)

■休館日 月曜日(但し、4月30日は開館、翌日休館)

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)

■入館料 一般・大学生100円 高校生以下無料

※20名以上団体2割引

※各種障害者手帳お持ちの方と介護人は無料

※和歌山市老人優待利用券ご呈示の方は無料

※5月18日(金)~20日(日)は国際博物館の日にちなみ無料

■イベント 古写真上映会 5月12日(土) 昭和初期の和歌の浦  
太田宏一(本館学芸員)

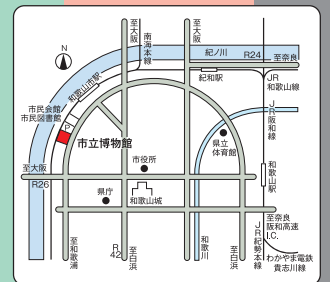
講演会 5月19日(土) 城下町和歌山の祭礼  
-和歌祭と日前宮砂持祭礼について-  
高橋克伸(本館学芸員)

展示解説 4月28日(土)、5月26日(土)

※各イベントは14時から15時

## 和歌山市立博物館

〒640-8222 和歌山市湊本町3-2  
Tel 073-423-0003 Fax 073-432-9040  
<http://www.wakayama-city-museum.jp/>



南海電鉄和歌山市駅から南西へ徒歩5分  
JR和歌山駅から和歌山バス乗車、  
南海和歌山市駅下車、徒歩5分